

令和5年度 林業試験研究推進計画書

1 課題名	(大項目)	中山間対策（特用林産の振興）		
	(小項目)			
	(課題名)	木炭の生産向上に関する研究		
2 研究期間	令和3年度～令和7年度	3 総括責任者	資源利用課 北沢 晴花	

4 背景と目的

木炭は県内中山間地域における貴重な収入源となっている。白炭は、平成26年から全国一位の生産量となっている。しかし、原料となるウバメガシ（以下ウバメ）の資源量が減少しており、資源量が回復するまで、ウバメ以外のその他カシ類（以下カシ）を原料として製炭せざるを得ない状況となっている。ところが、一般にカシの備長炭は製炭が難しいことが知られている。

黒炭は、生産量とともに生産者も高齢化等により減少している。そのため、黒炭の製炭技術が継承され難しくなっており、新規に就労を希望しても、窯の製造から製炭について指導してくれる人を探すのが困難な状況となっている。このような状態が続けば、将来的に就労を希望しても技術を伝える人がいなくなる恐れがある。

これら白炭並びに黒炭の課題を解決するため、白炭においては高品質なカシの備長炭を製造する方法の検討、黒炭においては、県内の製炭者を調査し、製炭し易く、かつ安価に製作出来る窯（簡易窯）の検討と黒炭製炭マニュアルを作成することで、県内の木炭生産量を増大させ、中山間地域の所得の向上を図ることを目的とする。

5 到達目標

カシ備長炭の製炭に適した製炭方法並びに黒炭が製炭し易く、安価な窯の検討と黒炭製炭マニュアルの作成、並びに黒炭生産のビジネスモデル化

6 研究年次計画

試 験 計 画		担当者
試 験 項 目・試 験 内 容	試 験 年 度	
1. 白炭窯の省力化と品質向上		資源利用課 北沢晴花 近田典章 山崎真
(1) 窯の情報収集 各種窯の情報収集 県内備長炭の品質調査	R5～R7	
(2) 製炭試験 カシ類の炭の収率、規格、品質調査、工程の改良と検証	R5～R7	
2. 黒炭簡易窯の検討、製炭マニュアル作成、ビジネスモデル化		
(1) 生産者等の調査 県内生産者等調査 簡易窯の検討、製造	R3～R5	
(2) 製炭試験 窯内温度の分析 炭の収率、規格、品質調査	R6～R7	
(3) 窯の改良 (2)の結果から試験窯の改良を行う	R6～R7	
(4) 製炭マニュアルの作成 (2)の結果を基に改良	R5～R7	
(5) ビジネスモデル化	R5～R7	

7 当年度研究実施計画

- ・白炭の品質の改良

- ・白炭・黒炭の品質調査
- ・黒炭の生産者等調査
- ・黒炭簡易窯の設計
- ・黒炭製炭マニュアルの試作
- ・ビジネスモデルの検討